

1. 件名：「JMTR二次冷却系統の冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談
2. 日時：令和元年12月20日（金）12：00～12：10
3. 場所：原子力規制庁 3階会議卓
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設等監視部門

白井上席監視指導官、福吉主任監視指導官、松本原子力運転検査官

日本原子力研究開発機構 大洗研究所環境技術開発センター

材料試験炉部 次長 他3名

5. 要旨

(1) 日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、令和元年12月20日付けで原子力規制委員会に提出のあった「JMTR（材料試験炉）二次系冷却系統の冷却塔倒壊について（第2報）」（以下「報告書」という。）について、以下の説明があった。

- ・ 冷却塔の倒壊を踏まえた水平展開として、同種の冷却塔であるUCL系統冷却塔の健全性調査結果に基づき点検の見直し、補修等の対応を行う。また再発防止のため、原子力機構の全ての施設に対し、建築基準法に基づく一般的な木造建築とは異なる木造の原子力施設の設備の構造部材の劣化の状態を把握し、必要な対策をとるとともに原子力機構内にある木造の建家・設備が倒壊し安全上重要な設備に影響を与えるおそれがある場合は必要な措置を講じる。
- ・ 冷却塔の改修及び更新後20年で木材の腐朽が進行したのは長期停止により温度、水分（湿度）及び空気等の木材腐朽の条件が運転を継続した場合に比べて整いやすくなったためと推定。

(2) 原子力機構は、本日付けで原子力規制委員会に提出のあった報告書に係る概要資料を作成しており、原子力規制庁からメールで提出するよう伝えた。また、報告書の内容に不明な点があれば、改めて確認する旨を伝えた。

(3) 原子力機構から、主旨を踏まえ対応する旨返答があった。

6. その他

配付資料

「JMTR（材料試験炉）二次冷却系統の冷却塔倒壊について－第2報－」

参考

※1 令和元年9月26日の面談

「JMTR二次冷却システムの冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談

※2 令和元年10月31日の面談

「JMTR二次冷却システムの冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談

※3 令和元年11月28日の面談

「JMTR二次冷却システムの冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談

※4 令和元年12月12日の面談

「JMTR二次冷却システムの冷却塔倒壊に係る対応について」に関する面談

※5 令和元年12月20日の面談

日本原子力研究開発機構大洗研究所材料試験炉（JMTR）における二次冷却システム
冷却塔の倒壊について